



Pack  
7

# Ferrari

## 250 GTO



# Ferrari

## 250 GTO

### 組み立てガイド

- |                 |                 |       |
|-----------------|-----------------|-------|
| <b>STAGE 25</b> | リアアクスルとデファレンシャル | P.97  |
| <b>STAGE 26</b> | リアリーフスプリング・左    | P.101 |
| <b>STAGE 27</b> | リアサスペンション・左     | P.105 |
| <b>STAGE 28</b> | リアリーフスプリング・右    | P.109 |



# リアアクスルと デフアレンシヤル(デフ)

リアアクスルとデフハウジングを組み立てる。写真をよく見て作業しよう。  
今回仕上げたパーツは大切に保管しておこう。

25-1

25-2

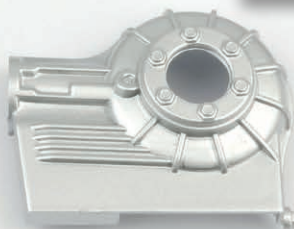
ネジB×3



25-3



25-4



25-5



## パーツリスト

25-1 アクスルシャフトの右半分

25-2 アクスルシャフトの左半分

25-3 デフハウジング右半分

25-4 デフハウジング左半分

25-5 デフハウジングカバー

## ネジ類

ネジB (P2.3×5mm) ×3 (1本は予備)

**ヒント** ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったならネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のミシンオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締まらなくなる場合がある。パーツ同士が程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。

/01



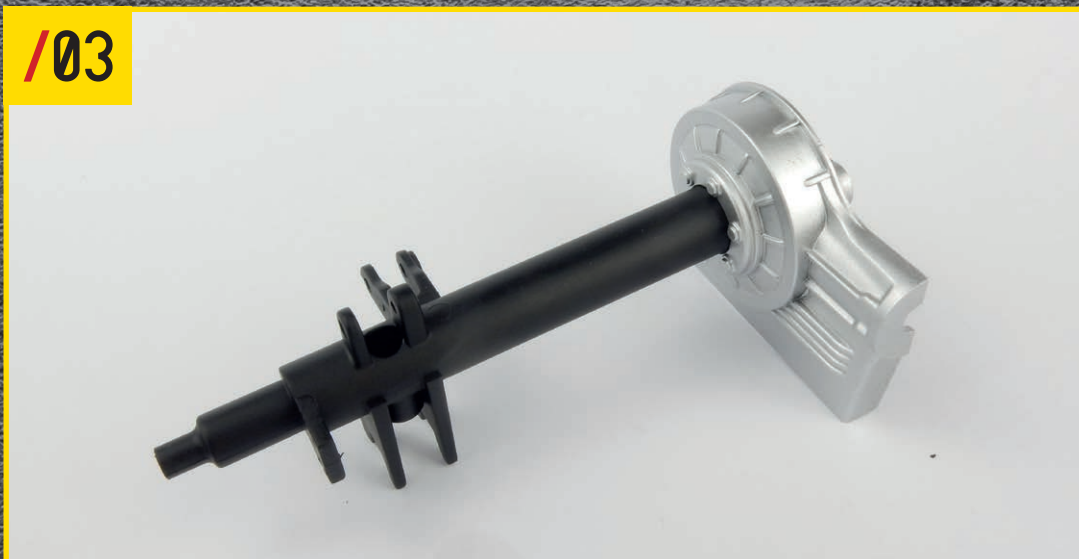
25-1 (アクスルシャフトの右半分)と  
25-3(デフハウジングの右半分、裏面に  
「R」と表示されている)を用意する。

/02

25-1 (アクスルシャフトの右半分)を  
25-3(デフハウジングの右半分)に組み  
込む。写真のように向きを合わせ、しっ  
かりと固定する。



/03



写真のように正しくさしこ  
まれているか確認しよう。



/04

25-2(アクスルシャフトの左半分)を25-4(デフハウジングの左半分)に組み込む。写真のように向きを合わせる。

2つのアクスルシャフトを合体させる。写真のように配置し、それぞれのアクスルシャフトの端にある穴が一直線に並ぶようにする。



/05



/06

次に裏返し、写真に示されている穴にネジB 2本をねじ込んで固定する。

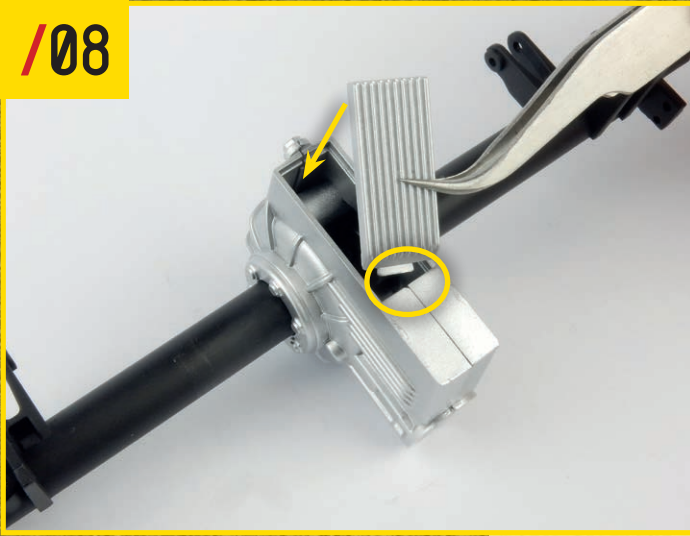


/07

スライドさせて、デフハウジングの左右半分を組み合わせる。



/08



25-5(デフハウジングカバー)を差し込む。



**STAGE25** の完成

デフハウジングと2つのアクスルシャフトの組み立てが完了した。次の組み立て作業まで大切に保管しておこう。

## リアリーフスプリング・左

左側のリアリーフスプリングを組み立て、アクスルシャフトに取り付けよう。

ネジB×3



ネジH×3



26-1



26-3



26-2



26-4

## パーツリスト

26-1 リアリーフスプリング (左)

26-2 前部ブラケット

26-3 後部ブラケット

26-4 中央ブラケット

## ネジ類

ネジB (P2.3×5mm) ×3 (1本は予備)

ネジH (P2.3×10mm) ×3 (1本は予備)

**ヒント** ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったならネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のミシンオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締まらなくなる場合がある。パーツ同士がある程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。

## STAGE 26

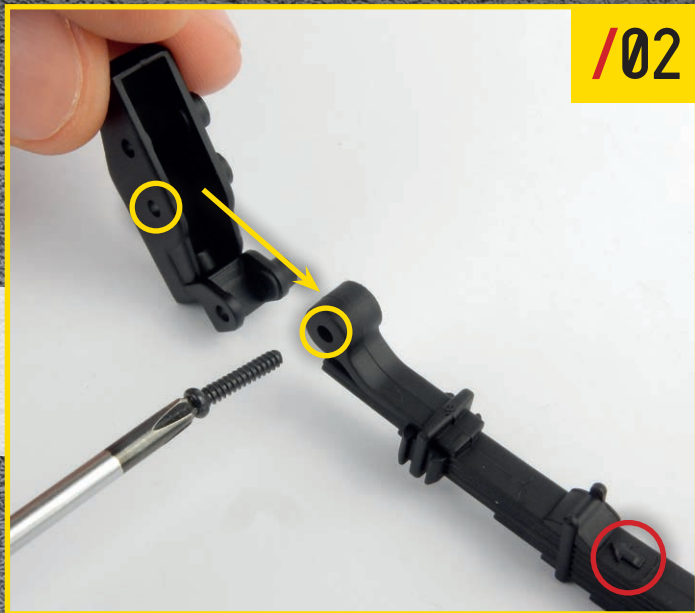
/01



26-1 (左のリアリーフスプリング) を用意する。写真で示している矢印に注目。この矢印の向きがモデルの正面に当たるので、作業中のチェックに役立ててほしい。

26-2 (前部ブラケット) を 26-1 (左のリーフスプリング) 前方向の端に取り付ける。写真のように向きを合わせ、穴が合っているか確認しよう。

/02



/03



ネジHで固定する。

26-3 (後部ブラケット) を 26-1 (左のリーフスプリング) のもう一方の端に取り付ける。写真のように向きを合わせ、ネジHで固定する。

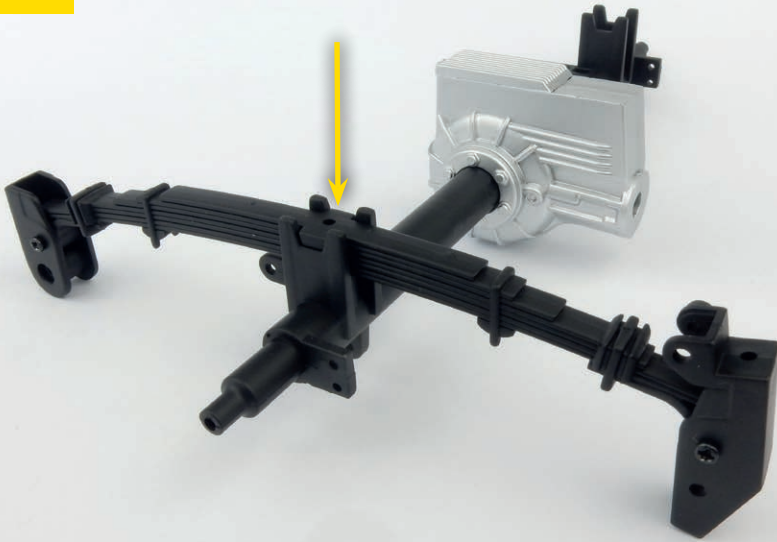
/04







/05



**STAGE25** で組み立てたパーツを用意する。写真のように配置し、リーフスプリングをアクスルシャフトの左半分に取り付ける。

裏返し、ネジBで固定する。



/06

/07



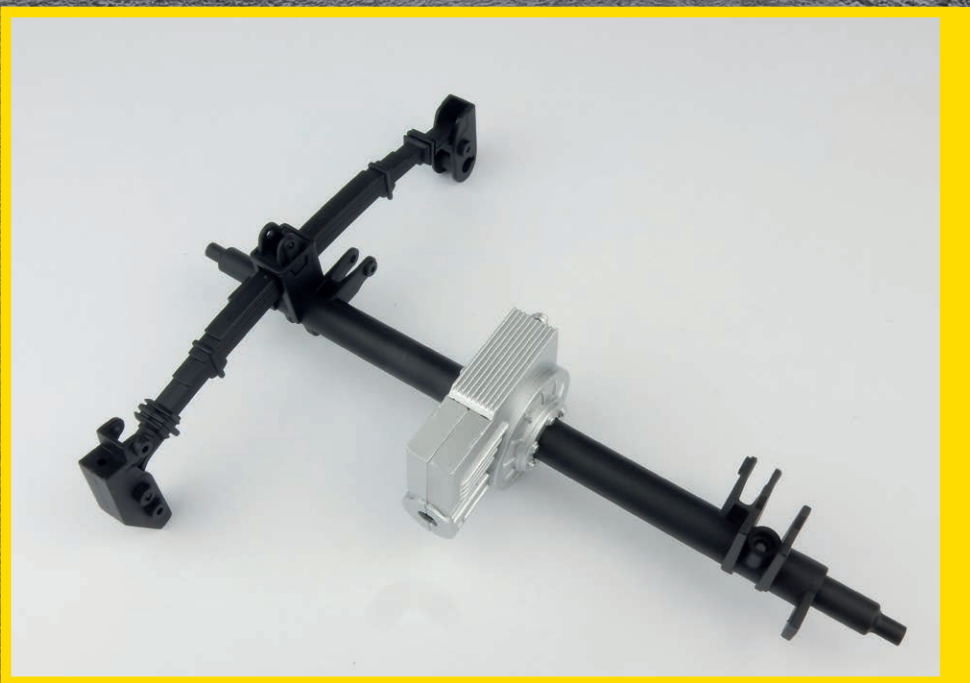
さらに裏返し、26-4(中央ブラケット)を写真のように取り付ける。ラグがリーフスプリングの後を向くようにする。



/08



ネジBで26-4(中央ブラケット)を固定する。



**STAGE 26** の完成

アクスルシャフトの半分に、左側リアリーフスプリングを取り付けられた。

## リアサスペンション・左

左側のリアサスペンションを組み立てる。写真をよく見て、注意深く作業しよう。



ネジG×3



ネジH×4



## パーツリスト

27-1 ショックアブソーバー

27-2 リアアクションストラット

## ネジ類

ネジG (P2.0×8mm) ×3 (1本は予備)

ネジH (P2.3×10mm) ×4 (1本は予備)

**ヒント** ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったらネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のミシンオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締まらなくなる場合がある。パーツ同士がある程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。

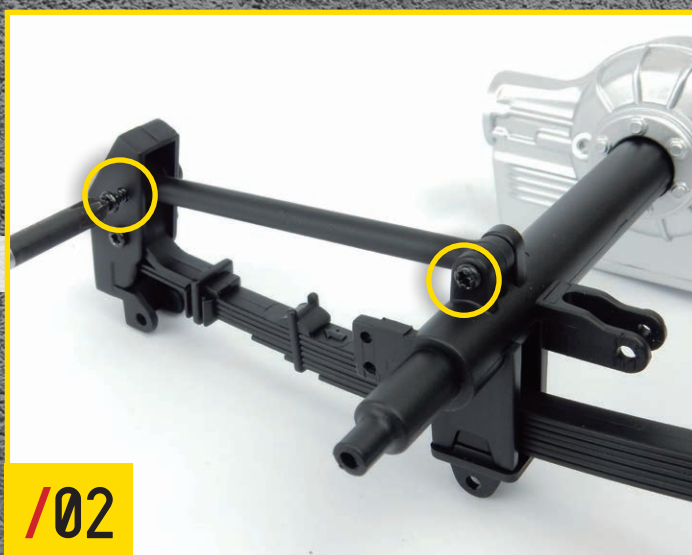
## STAGE 27

/01



STAGE 26 で組み立てたパーツを用意する。27-2(リアクションストラット)の1つを、写真のように左側リアリーフスプリングに置いてみる。

ネジH2本で固定する。



/02

/03



写真のように 残りの27-2(リアクションストラット)を置き、ネジGでスプリングの中央ブラケットに固定する。



/04



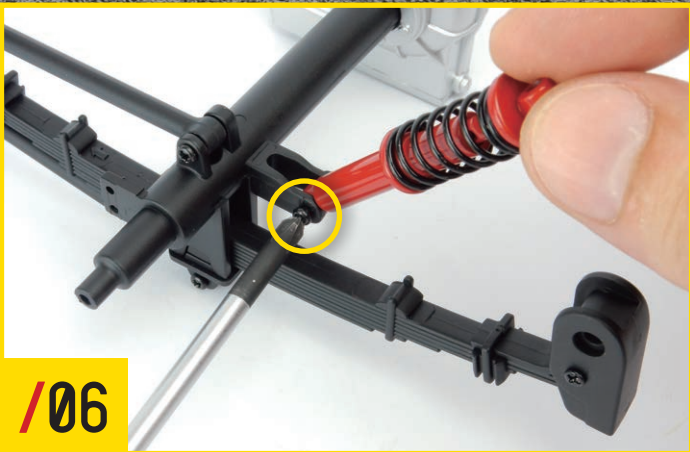
ネジHで27-2(リアクションストラット)をスプリングの前部ブラケットに固定する。

/05

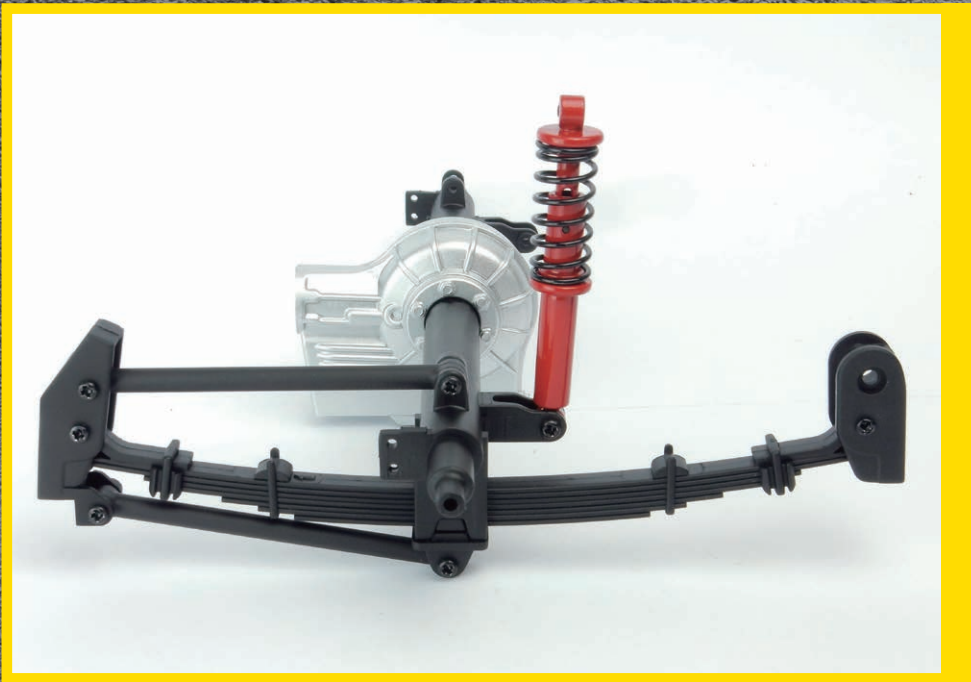


写真のように27-1(ショックアブソーバー)をアクスルシャフトの左半分に取り付ける。

/06



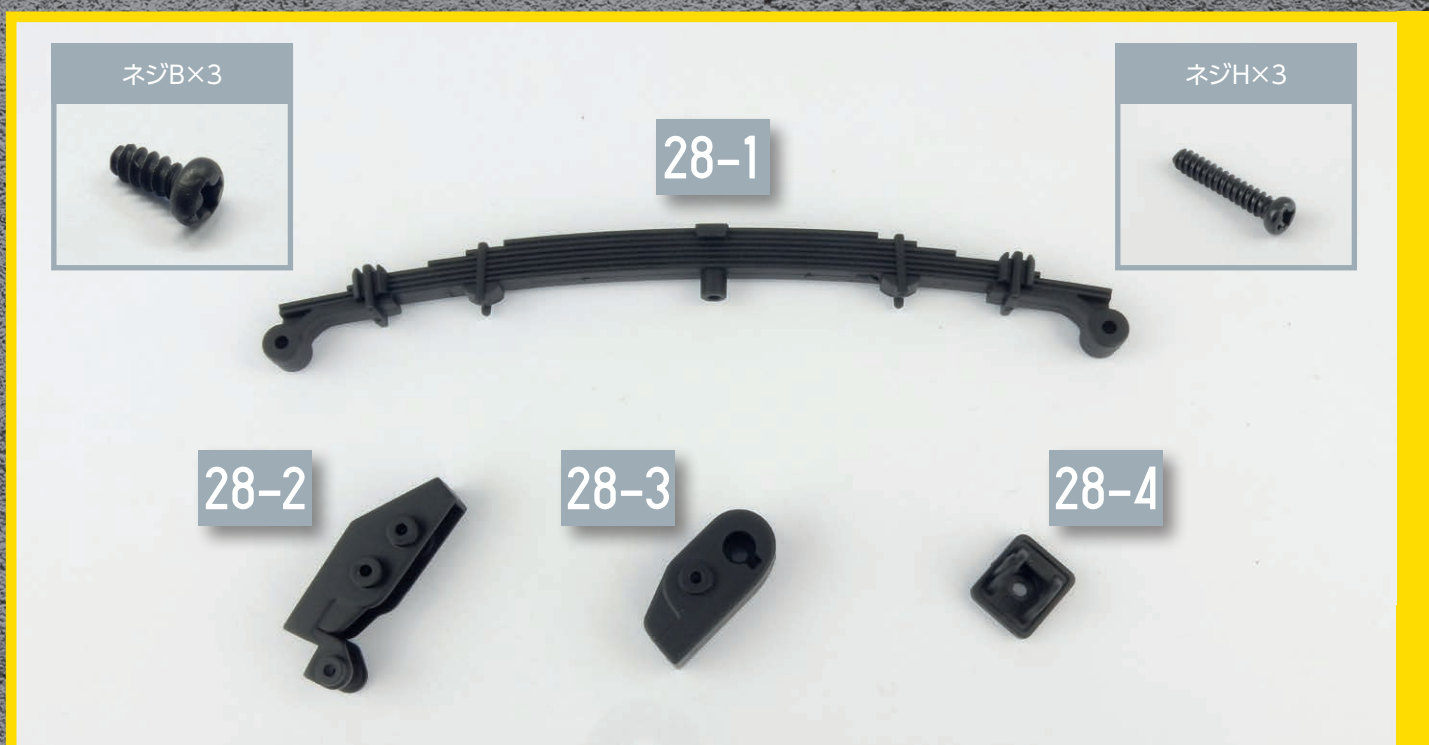
ネジGで固定する。



**STAGE 27** の完成  
左側のリアサスペンションが仕上がった。

## リアリーフスプリング・右

右側リアリーフスプリングを組み立て、アクスルシャフトに取り付けよう。



## パーツリスト

28-1 リアリーフスプリング (右)

28-2 前部ブラケット

28-3 後部ブラケット

28-4 中央ブラケット

## ネジ類

ネジB (P2.3×5mm) ×3 (1本は予備)

ネジH (P2.3×10mm) ×3 (1本は予備)

**ヒント** ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったならネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のミシンオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締まらなくなる場合がある。パーツ同士がある程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。

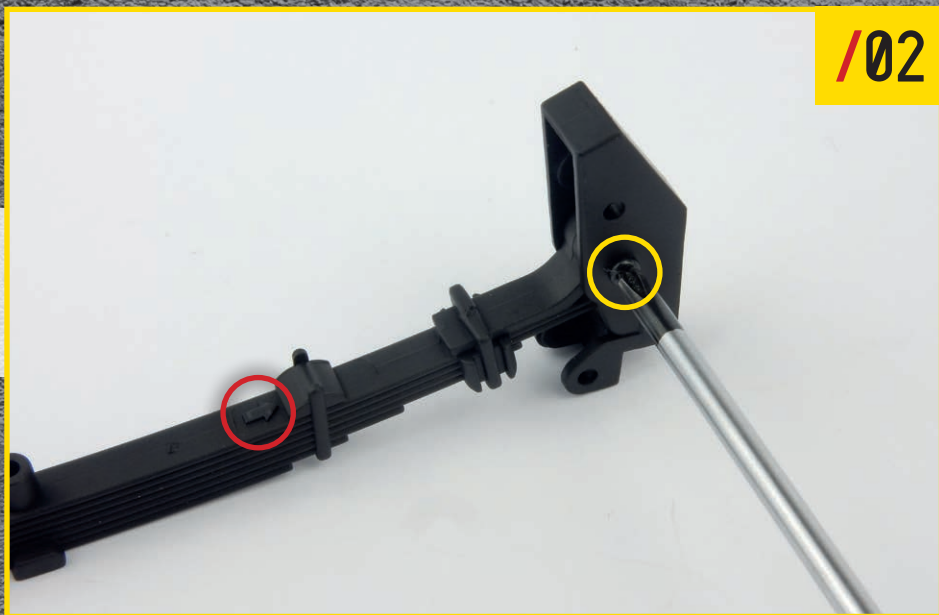
/01



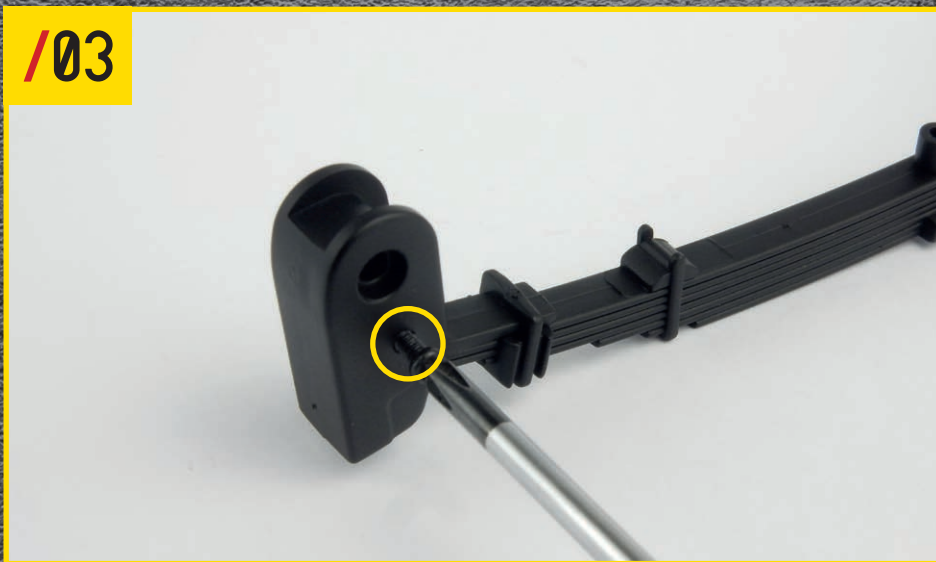
28-1 (右のリアリーフスプリング)を用意する。写真で示している矢印に注目。この矢印の向きがモデルの正面に当たるので、作業中のチェックに役立ててほしい。

/02

28-2 (前部ブラケット)を28-1 (右のリーフスプリング) 前方向の端に取り付ける。写真のように向きを合わせ、ネジHで固定する。

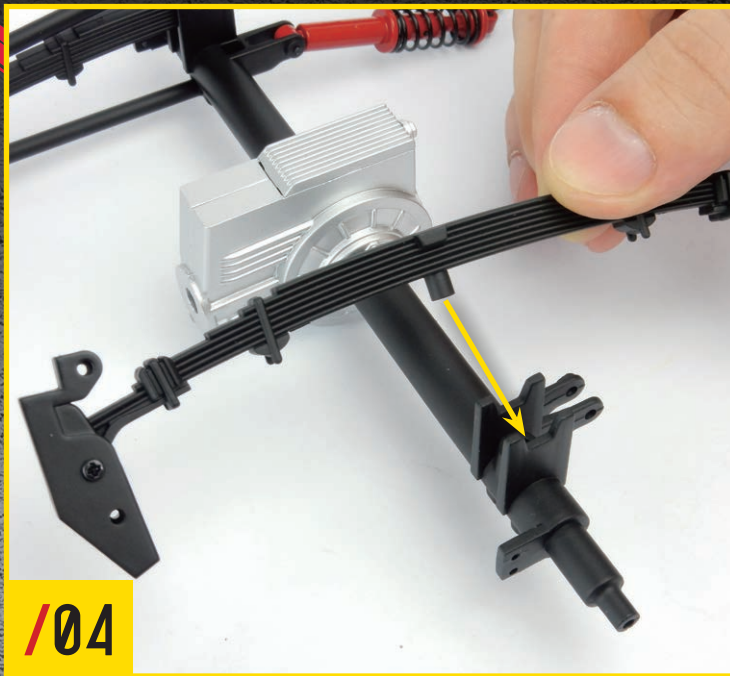


/03



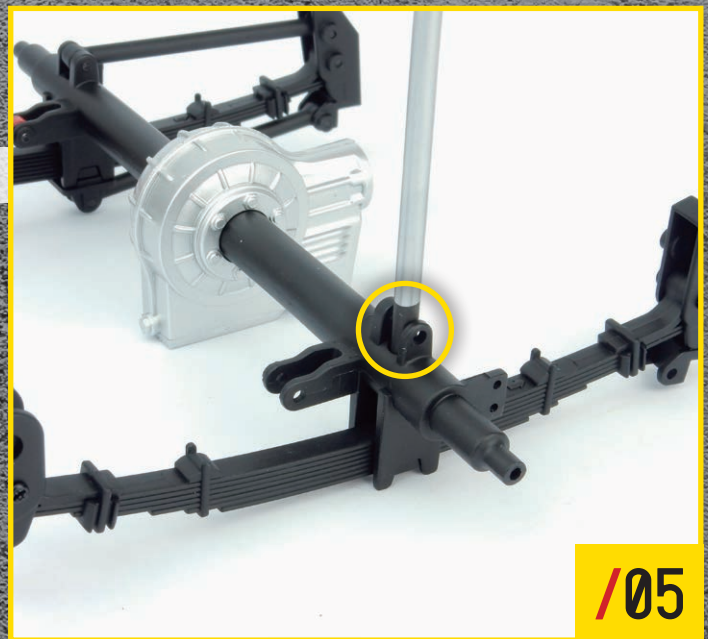
28-3 (後部ブラケット)を28-1 (右のリーフスプリング)のもう一方の端に取り付ける。写真のように向きを合わせ、ネジHで固定する。



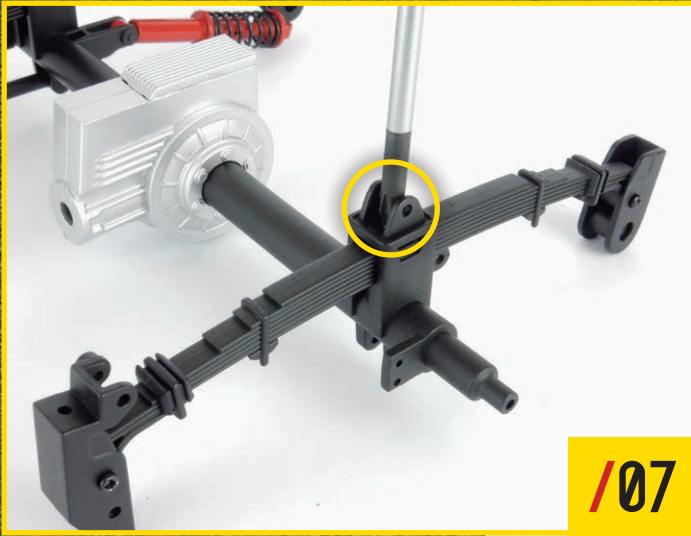


**STAGE27** で組み立てた左側のリアサスペンションを用意する。リーフスプリングを写真のように配置し、アクスルシャフトの右半分にはめ込む。

裏返し、ネジBで固定する。



さらに裏返し、28-4(中央ブラケット)を写真のように取り付ける。ラグがリーフスプリングの後を向くようにする。



**107**

ネジBで28-4(中央ブラケット)を固定する。



**STAGE 28** の完成

右側のリアリーフスプリングを取り付けたアクスルシャフト。